

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	海事科学実験	
科目基礎情報							
科目番号	0022			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験			単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	海上輸送システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	通年			週時間数	前期:6 後期:6		
教科書/教材	実験のテーマごとに指定する						
担当教員	筒井 壽博,高岡 俊輔,湯田 紀男,村上 知弘,二村 彰,秋葉 貞洋,野々山 和宏,中村 真澄,山崎 慎也,佐久間 一行,池田 真吾,松内 美緒						
到達目標							
事関連分野の基礎および応用に関するテーマを中心に、解析、シミュレーションなどを含む実験を行い実践的技術者の資質を養う。実験への取り組み姿勢と実験報告書の完成度に基づき総合的に評価する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
実験目的	実験目的を伝えることができる		実験目的を理解できる		実験目的を理解できない		
実験方法	実験方法を伝えることができる		実験方法を理解できる		実験方法を理解できない		
実験結果	実験結果を伝えることができる		実験結果を理解できる		実験結果を理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 専門 E1 専門 E2 専門 E3							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	半期をローテーションに学生が選択した実験課題ごとに実験室、校内練習船「弓削丸」および共同利用施設等で実験を行う。なお、実験の実施に関しては上記の担当教員のほかに複数の補助者がつくことがある。						
注意点							
実務経験のある教員による授業科目							
この科目の一部では、企業で研究・設計開発業務を担当していた教員が、その経験を活かし、船舶機械システムに関して講義および実験形式で授業を行う。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	[オムニバス]				
		2週	実験課題として次のようなテーマがあげられる。				
		3週					
		4週	1.海上輸送システム学に関するテーマ 2.海上社会システム学に関するテーマ		45時間		
		5週					
		6週	3.船舶安全管理システム学に関するテーマ		45時間		
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	4.海洋機械工学に関するテーマ		45時間		
		2週					
		3週	5.船舶機械システム学に関するテーマ		45時間		
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
評価割合				
	レポート・成果物・実技		口頭発表	合計
総合評価割合	80		20	100
知識の基本的な理解	30		0	30
思考・推論・創造への適応力	10		0	10
汎用的技能	20		20	40
総合的な学習経験と創造的思考力	10		0	10
態度・志向性（人間力）	10		0	10